

# 議会だより

## しらたか

2020年7月15日発行  
(令和2年)

Vol.147

山形県白鷹町議会  
6月定例会



## 「待ちに待った部活動」 白鷹中学校 吹奏楽部

感染症対策基金創設へ	2p
ここが聞きたい 本会議一般質問 3人の議員が町政を問う	5p
新型コロナウイルスに負けない	12p
追跡 あの質問のゆくえ 地域活動の情報提供	14p
シリーズ企画 知れば得する“ぎかい”のキホン	15p
インタビュー ボランティア白鷹の未来を彩る	16p

お手持ちのパソコンやスマホなどで  
議会中継をご覧いただけます。  
録画でもご覧いただけます。



この広報は、議員の自主編集で発行しています。

# 感染症対策基金創設へ 3,000万円補正

## 6月 定例会

### 【趣旨】

本町では、新型コロナウイルスの感染防止対策に各種取り組んでいる。それらの経験を踏まえ、感染症対策については、中長期的な視点に立った取り組みが必要であり、地域防災計画においても必要な措置が求められている。

また、特に影響を受けやすい、子どもたちや、医療現場、福祉施設への支援を継続して迅速に行うための財源として活用するほか、町民の皆様から寄せられる思いの受け皿とすべく、白鷹町感染症対策基金を創設する。

### 【基金の使途】

## 感染症対策基金

子どもたちの健康管理と教育環境の確保

- ・感染症予防教育
- ・予防接種支援
- ・教育相談支援 等

町内医療体制の充実

- ・衣料品の共同調達
- ・健康相談（コールセンター）の設置
- ・オンライン診療の推進 等

福祉施設への支援

- ・業務継続計画作成支援
- ・リモート面会システム導入支援 等

その他感染症対策

- ・特に防災計画で必要な措置
- ・避難所の感染症対策
- ・隔離施設確保 等

4項8項に関連記事

である。

設など、影響の大きいところに使用する基金

ち、医療現場、福祉施設

応し、基金は子どもた

れぞれの担当予算で対

当局 経済対策は、そ

金を使用するのか。

議員 経済対策にも基

策にも対応する基金。

当局 新たな感染症対

策に対応する基金か。

議員 全ての感染症対

策に対応する基金か。

基金は全ての感染症

に対応するのか

### 全員協議会質疑

待ちに待った部活動  
こんにちは先輩！

新型コロナウイルスの影響で、部活動が始まらないどころか、新入部員の勧誘も難しかった白鷹中学校。

6月からようやく部活動が始まり、新入部員は緊張しながらも笑顔で先輩から指導を受けていました。初めて触れる楽器の感触に戸惑いつつも、ようやく始まった部活動のある学校生活を楽しんでいるようです。

生きる力は教科書だけでは学べません。部活動で仲間と切磋琢磨を繰り返しながら、失敗も体験しながら、思いやりのある大人になってほしいものですね。



表紙

## 条例

- **白鷹町固定資産評価審査委員会条例の一部改正**  
行政手続き等における情報通信の技術の利用に関する法律の一部改正に伴い定めるもの
- **白鷹町町税条例等の一部改正**  
新型コロナウイルス感染症等に係る徴収猶予の特例に係る手続き等に関する規定を定めるもの
- **白鷹町国民健康保険税条例の一部改正**  
譲渡所得に係る国民健康保険税の課税の特例を定めるもの
- **白鷹町後期高齢者医療に関する条例の一部改正**  
新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者等に対する傷病手当金の支給について定めるもの
- **白鷹町感染症対策基金条例の設定**  
新型コロナウイルス感染症による町民生活への影響を踏まえ、将来にわたり感染症の脅威から町民の健康と生活を守り、安全・安心を確保するため定めるもの

## 人事

- **白鷹町監査委員** 任期4年が満了するため、引き続き選任するもの  
竹田 謙一 氏 (荒 砥)
- **白鷹町固定資産評価審査委員** 任期3年が満了するため、その後任者を選任するもの  
村上 茂一 氏 (高 岡)
- **白鷹町農業委員** 任期3年が満了するため、次期の農業委員会委員を任命するもの
 

児玉 匡樹 氏 (高 玉) 新	高橋 康子 氏 (荒 砥) 新
丸川 正博 氏 (横田尻) 現	齋藤永治郎 氏 (菖 蒲) 現
中川 要一 氏 (山 口) 現	小林 孝次 氏 (滝 野) 現
伊勢亀崇男 氏 (鮎 貝) 新	村上 浩康 氏 (浅 立) 元
樋口金一郎 氏 (高 岡) 新	新野 清 氏 (広 野) 新
	鈴木 政司 氏 (畔 藤) 新

## 第3回臨時会 5月1日

- **白鷹町町税条例等の一部を改正する条例の専決処分**  
たばこ税の課税免除の適用にあたって必要な手続きを簡素化することを定めるもの
  - **白鷹町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分**  
国民健康保険税の課税限度額を引き上げるとともに、軽減措置の拡充を定めるもの
  - **令和元年度白鷹町一般会計補正予算（第7号）の専決処分**  
除排雪経費や国の補正予算事業の採択となった事業の調整を行ったもの
  - **令和2年度白鷹町一般会計補正予算（第1号）の専決処分**  
今後見込まれる新型コロナウイルス感染症対策等に備え、予備費の追加を行ったもの
  - **白鷹町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定**  
新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者等に対する傷病手当金の支給について定めるもの
  - **令和2年度白鷹町一般会計補正予算（第2号）**  
特別定額給付金給付事業など新型コロナウイルス感染症対策に関連する事業等に対応するもの
  - **令和2年度白鷹町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）**  
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、国民健康保険被保険者への傷病手当金の支給について定めるもの
- 全ての議案を承認、可決した。

補正  
予算

# 新型コロナウイルス対策に8,939万円を増額

## 一般会計補正予算の主なもの

### 質疑

**質疑** コロナ対策の状況は  
委員 コロナ緊急対策  
で対応に関わった担当  
課ごとの職員の数はい  
くらか。  
当局 定額給付金につ  
いては、総務課内に給  
付室を設置し6名を配  
置して対応した。経済  
対策については、商工  
観光課、農林課で対応  
し、感染症対策では、

**質疑** 健康福祉課、病院、教  
育委員会でも対応した。  
委員 コロナ対策の負  
担増により、職員に体  
調不良などはないか。  
当局 体調不良はない  
が、業務が長期間に渡  
ったため疲れが出てく  
ると思われる。計画的  
に休みなどを組みなが  
ら休養してもらいたい。

**質疑** 荒砥高等学校活  
性化事業における地域  
連携協議会の組織構成  
等はどのようになっ  
ているのか。  
当局 これから立ち上  
げだが、外部有識者、  
行政関係者等10名程度  
を想定し、学校職員等  
による実務者会議も設  
置して具体的な取り組  
みを行う。

**質疑** 教育委員会事務  
局費の感染症対策の物  
品はどのようなものか。  
当局 体表面温度を測  
るためのサーマルカメ  
ラ、教室換気用のサー  
キュレーター、自動で  
消毒液が出るアルコー  
ルディスプレインサーなど  
を各小中学校に配置し  
たいと考えている。



### 新型コロナウイルス感染症対策 8,939万円

- ・感染症対策のための基金を創設。 3,000万円
- ・勤労者のため生活資金、教育資金、福祉資金の借り入れに対する利子補給。 150万円
- ・学校の臨時休業に伴う放課後等デイサービスの利用者負担を免除する費用。 9万円
- ・県の災害・経営安定対策資金制度による貸付金（農業）への利子補給。 30万円
- ・商工会が実施する商店の販売促進事業への補助。 20万円
- ・感染拡大防止のための物品購入。 450万円
- ・感染症の対策や自然災害が発生したときに行政の機能を確保するため、旧医師住宅を取得して改修する費用。 1,860万円
- ・感染の拡大を防止するため、学校で使用する物品の購入など。 870万円
- ・学校給食費の保護者負担に支援する費用の追加。 100万円
- ・新型コロナウイルスに対応するための予備費。 2,000万円  
など

### コミュニティ助成事業 250万円

鷹山地区自治振興会が活動用の備品を整備する経費への助成。

### 地区コミュニティセンター費 229万円

分館を整備するための補助の追加。

### 地域介護・福祉空間助成事業 1,540万円

老人福祉施設が非常用自家発電設備を設置する費用の支援。

### 有害鳥獣対策事業費 115万円

イノシシなどによる農作物への被害を防止するため、電気柵を設置する費用の補助。

### 企業立地促進事業 3,600万円

企業の立地を進めるための補助金の追加。

### 荒砥高等学校活性化事業 10万円

高校と地域が一緒になって活性化を検討する地域連携協議会の活動を補助する費用。

### 文化財保護調査事業 49万円

郷土資料館における展示のための費用。

など

◎ 財源は国、県支出金、繰越金などで対応します。

### 令和2年度補正予算総括表

会計項目	補正額	補正後の額
一般会計	1億6,126万円	92億490万円

※万円未満は端数を調整しています。

# きめ細やかなコロナ対策を

## 町長 切れ目のない経済対策支援を実施



録画を配信

### 医療・健康対策

#### マスクなどの不足は

**問** 病院や介護施設等の現場で、マスクや防護服、消毒液は足りているか。

**町長** 町立病院は国の優先供給対象であり、現状で不足はない。

開業医院ではマスクや消毒液は足りているが、防護服が在庫・入手とも困難な状況だ。介護や福祉、児童施設では、備蓄のほか国からの配布や寄贈などもあり、事業継続に支障はないようだ。

### 職員の健康管理は

**問** 病院職員の健康管理や勤務体制に無理はないのか。

**病院事務局長** 熱があれど休む体制ができており、心理的負担はないと認識している。

### 高齢者の健康管理は

**問** 自粛が続き、高齢者の体力の衰えが心配されるが対策は。

**健康福祉課長** 介護予防教室の参加者に、自宅でする軽い運動や栄養に関するパンフレットを配布した。今後は、体力低下を防ぐため、保健師に

よる個別指導なども考  
えていく。

### 教育対策

#### 児童生徒の様子は

**問** 学校再開後の児童生徒の様子は、再開して子ども達からは、

「友達とたくさん遊べる」など喜びの声が多く聞かれる。

#### 支援の体制は万全か

**問** 夏休みの短縮や行事の削減で、子どもたちのストレスは大きいのではないかと対策は。

**教育長** 学習の遅れを取り戻すことをプレッシャーにしないため、時間をゆつたりと確保する授業計画の見直しを各校と共に行う。

#### ICT化の実施は

**問** 国の※「GIGA(A/GIGA)スクール

ル構想」を活用するICT化はいつごろを目途に実施予定か。

**教育次長** このたびの臨時休業といつた緊急時の学びの保障という視点も踏まえ、今年度中に整備したいと考える。

### 経済対策

#### 事業者の声は

**問** 実施した経済対策に対し事業者の声は。

**町長** 飲食店からは「大変ありがたい」「新規顧客の拡大ができた」と伺っている。



#### きめ細やかな対応を

**問** このような非常事態には、町と関係機関が連携し事業者の声を受け止め、き

め細やかな対応をすべきである。今後の対応は。

**町長** 今後は関係機関との連携を密に、

「プレミアム商品券事業」「中小企業の雇用維持支援」など切れ目のないきめ細やかな経済対策支援を実施する。

#### 学生に町産物小包を

**問** 帰省できない学生に、町産物の小包を送れないか。Uターンのきっかけにもなるのではないかと。

**町長** 一番待望しているのは帰る手段で、食べ物ではない。本人にプラスになることを研究して実施する。

※GIGAスクール構想  
8頁に関連記事。

笹原俊一議員



# コロナ後の郷土資料館の構想は

## 町長 当初の構想をもとに、計画どおり進める



録画を配信



横山和浩議員

### 展示計画への影響は

**問** コロナの影響で、既存の博物館などはこれまでのような展示が難しくなっている。展示計画は見直すのか。

**町長** 構想は新型コロナウイルスが社会問題となる以前に策定されていて、社会情勢などには柔軟に対応すべきだが、ウイルスの流行の影響を直ちに受けるものではないと考えるので、計画どおり進める。

**問** 展示スペースがより狭くなること懸念される。お客様に満足していただける広さを確保できるのか。

**町長** 工夫した展示のほか、施設への貸し出しなど、さまざまな企画で一体的に展開したい。

### デジタル化は

**問** デジタル化やオンライン展示は、貴重な資料の基

**町長** 本情報をデジタルデータ化し整理することは必要と考えている。オンライン公開は郷土資料館運営検討委員会からご意見を頂戴し、総合的に検討したい。

### 維持費の削減は

**問** 経済の落ち込みが懸念される。

維持費を大きく抑えた構想、例えば常設展示をしないなどの方策は、維持管理費削減は大事な視点。

### 町長

効果的・効率的な運営方法を導入したい。二階や運営コストなどから効率的な開館形態を設定する。また、連携施設との相乗効果から事業継続性を確保し、魅力も高めたい。常設展示は原則として行わないという点は、現段階では考えていない。

### 多様な意見を

**問** コロナ以降の文化施設のありかたを議論したうえで、展示を検討いただきたい。検討委員会に、若い方や大学など専門知識を持つ方を入れては

### 教育次長

検討委員会の構成員は町内各組織や有識者を想定している。若い学芸員や大学の先生もおられるので、ご意見をいた



予定地（旧十王コミセン）

### 展示解説の充実を

**問** 展示解説の充実が大切と思うが、準備期間が必要では

### 町長

簡単な説明だけでは理解が及ばない可能性があり、その準備には相当の時間を要すると思われる。さまざまな視点での取り組みを開館までに準備するのは到底無理かと思うが、専門的なご意見を頂戴し時間をかけながら対応したい。

多くことも可能と思う。

### オンライン展示の議論を

### 問

現段階で、どういう展示が良いのか答えを出すのは難しいのでは。その間にオンライン展示の議論をしていただきたいが、これまでの経緯は

### 教育次長

オンライン展示は施設を知っていたただくために有効だが、足を運んでいただくことが大事だと思ふ。検討委員会でご意見をいただき進めたい。

# 避難所のコロナ対策は

## 町長 分散する手法で三密を回避したい



前半



録画を配信

後半

### 治水対策 国の新事業は

**問** 今年度国が新たに創設した「緊急※浚渫推進事業」に該当する準用河川（町管理の河川）の把握は、

**建設水道課長**

パトロールなどにより土砂堆積の著しい箇所、倒木が見られる箇所など、人家に影響を及ぼす恐れのある箇所について、十分精査を行うてまいりたい。

**町長**

準用河川などが入り組んでいる場合が多く、今まで倒木もなかなか処理できなかった。この事業について



丸川雅春議員

ては地権者との調整をきっちり行っていないかなければならない。

### 水位の把握は

**問** 激しい降雨時における河川の水

位の変化は、どのような方法で把握しているのか。

**総務課長**

最上川については、菖蒲観測所においてデータが収集されている。小鮎貝川、貝生川については、危機管理型水位計が設置されていて、パソコンなどで確認できる。その他の河川については、水防団や自主防災組織からの情報で把握している。

**問** 危機管理型水位計の活用方法を町のホームページに掲載してはどうか。

**総務課長**

町民の方誰でも確認できるので、アクセスしやすいようにリンクするよう形にしていきたい。

### 避難所の予防対策 予防対策全般は

**問** 避難所における新型コロナウイルス感染予防対策は、

**町長**

分散する手法で三密の回避を意識した新たな形が必要になると考えている。避難所においては体温測定を行うほか、咳エチケット、手洗いなどの励行に関するチラシを配布して、マスク、消毒液などは町でも準備を進める。そして、各地区自主防災組織や施設管理者と情報共有を行い、連携を図りな



がら、安心していただける避難所運営に努めてまいりたい。

### 分散避難の施設は

**問** 広範囲にわたる大規模な災害になれば分散型の避難施設と数については、

**町長**

数については一概に言えないが、分散という考え方は分館等を念頭に置きながら、地域の自主防災組織と連携して状況に応じて判断するしかないと思う。

### 暑さ対策は

**問** 感染予防のマスク着用での暑さ

対策は、

**総務課長**

空調設備がある施設は

それを活用し、それ以外では窓を開けて扇風機の使用になる。停電も考えられるので状況を加味しながら検討していきたい。

### 誹謗中傷対策は

**問** 発熱など感染が疑われる人への

**町長**

これは人間としてどう生きるべきなのかということだと思う。個人情報と表現の自由を守ることも必要であり、この辺の整合性の取り方は、はるかに私の能力を超えた部分での議論になると思う。お互いの信頼で、そういうことがない社会をつくるために一致団結して機運を盛り上げていくしかないと思う。

※浚渫：河川などの底面をさらって土砂などを取り除く工事

総務厚生常任委員会

個性に合わせた教育の実現に向けて

6月9日に委員会が開催され、GIGA(ギガ)スクール構想について説明を受けた。

【背景・経緯】

国は、全国一律に学校ICT環境整備を喫緊の課題と位置づけ、一人一台端末及び高速通信ネットワークを一体的に整備することを柱としたGIGA(ギガ)スクール構想を打ち出した。新型コロナウイルスの影響もあり、構想を前倒しで進めるよう、緊急経済対策の対応に盛り込まれた。



質疑

教育ICT環境をどう実現するのか

委員 総予算は、先生にもタブレット一人一台か。

当局 予算は5500万円。先生の分は入っていない。

委員 何年かごとに新しいものに替えるのか。

当局 現段階で最新のものを、バッテリー駆動を加味しパッケージ化したものを使いたい。その後の更新は検討し対応したい。

委員 校内無線LAN整備とは。ネット接続環境は向上するのか。

当局 一教室40台使用でき、全児童生徒がアクセス可能な大容量通信ネットワークを目指す。

委員 ハード、ソフトの指導体制をどう進めるのか。

当局 ICT支援員も活用しながら、先生方の研修を丁寧に進めたい。オンライン研修システムも活用したい。

委員 児童生徒には貸与か。町は購入か。

委員 町は購入か。家庭のICT環境も違うが。

当局 貸与する。購入か。リースかは検討する。家庭用モバイルルーターも補助対象であり検討したい。

委員 ソフトを選ぶ際の基準は。先生方の校務の改善は。

当局 先生方と情報交換しながら決めていく。子どもたちとの連絡調整も可能になる。改善できるよう検討したい。

感染症への継続的な対策として

白鷹町感染症対策基金について説明を受けた。

【趣旨】

感染症対策は中長期的な視点に立った取り組みが必要である。特に子どもたちや医療現場、福祉施設への支援を継続して迅速に行うための財源及び町民からの寄附の受け皿として創設する基金。

質疑

どう基金を活用できるのか

委員 基金は毎年積み増しか。ふるさと応援基金のように対応するのか。

当局 当初は3千万円を予定し、活用のために取り崩した後は、財政状況をみながら積み増ししていきたい。ふるさと納税については、選択項目などを検討したい。



委員 基金活用する場合は申請するのか。現物給付か、現金給付か。

当局 健康管理や医療、福祉など多岐にわたるので、基金から直接ではなく補助に充てる。補助するものは物にするのか現金にするのか、意見を伺いながら検討したい。

委員 民間からも募るのか。ピーアールは。

当局 まずは町の予算の中から。余剰金を原資に財政状況をみて対応したい。その後民間から。ただ、基金に積極的に募るといっても、受け皿としていきたい。

その他

- 表彰時期等の見直し
- 令和3年度白鷹町重要事業要望
- 特別養護老人ホーム 白光園の状況等
- 白鷹町郷土資料館整備事業
- 町立病院の状況などについて説明があった。



## 好調な鮎貝地区地域交流商業施設

6月10日に委員会が開催され、鮎貝地区地域交流商業施設の状況について説明を受けた。

### 【経過】

令和2年4月24日（金）オープンを予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、5月13日（水）に日程を変更しオープンした。

特に果物を含む青果については売れ行きが好調である。

### 質疑

**【委員】** 移動販売事業は、いつ頃を目標に、どのように検討しているのか。

**【当局】** 職員によるワーキンググループで検討している。その後、町民の意見を受けて実施に向けて検討していきたい。

**【委員】** 来客数はどのくらいか。また、営業時間はどうなるのか。

**【当局】** 来客数は平日で約550人、休日で約600人である。営業時間については24時間営業となる。



期待を込めて  
テープカット

## 厳しい結果となった財団経営

一般財団法人白鷹町アルカディア財団の経営状況について説明を受けた。  
(次頁に関連記事)

### 【事業・決算の概況】

観光交流推進を重要課題と位置づけ、確実な事業展開と経費の節減に取り組んだ。温泉の活用と食事などを組み合わせ「健康づくり」をキーワードとした事業に取り組みとともに、町内各施設などの受託事業の適正かつ円滑な遂行に努めてきた。しかし、3月に入ると、新型コロナウイルスの影響により宿泊・宴会のキャンセルが相次ぎ、当期一般正味財産増減額は、約646万円の赤字となった。

### 質疑

**【委員】** 6月の補正予算で施設の調査業務を委託するということが、経営改善に視点を置いたものなのか。

**【当局】** 建設後、34年を経過しており、老朽化が進んでいる。施設の利便性向上、源泉の安定確保が課題となっている。効率性、安全性の視点を踏まえて、施設の調査業務として状況確認、検討、検証を行う。令和3年度から中期経営計画策定期であるので、この調査も併せて行いたい。

**【委員】** 一般財団法人にした段階で、理事が経営責任を負う。理事会が開催されていて、3月だけで、約640万円の赤字が出たのか。



対策も万全でお待ちします

**【当局】** 理事会のほか毎月理事協議会で確認している。経営責任は、理事長及び理事にある。2月期まではトータルの見込みとして赤字で推移するものとみていた。通常のベースであれば黒字決算の見込みであった。

### 【会議の開催】

- ① 理事会 6回
- ② 評議員会 5回
- ③ 監査会 2回

その他  
○一般社団法人白鷹町観光協会の状況について説明があった。

# 新型コロナウイルス感染症によるキャンセルにより 厳しい経営状況に



コロナ禍の影響はいつまで

## 事業報告

一般財団法人 白鷹町アルカディア財団

理事長 横澤 浩

◆概要 令和元年度は、地域資源である温泉の活用と食事、軽スポーツを組み合わせた「健康づくり」の事業をはじめ、パークゴルフ場の有効利用、公共施設の指定管理受託業務、学校給食調理等業務の受託など、積極的な取り組みを継続した。

また、長井・南陽・飯豊・白鷹の4市町による「やまがたアルカディア観光局」の設立に伴い、関係機関・団体との連携強化やネットワーク構築などに取り組んだ。

一方、新型コロナウイルス感染のまん延により多大な影響を受け、パレス松風では3月以降の宿泊、宴会予約のキャンセルが相次ぎ、大変厳しい経営状況となった。

◆収益高 宿泊・飲食に関連する事業収益の大幅な減少により、経常収益合計は3億1,365万円（前年度比2,702万円の減）であった。経常費用合計は3億2,004万円（前年度比1,959万円の減）となり、当期損益は646万円の赤字となった。

○主な事業の利用者数 ( )は前年比		
宿泊	8,253人	(792人減)
宴会	16,833人	(3,548人減)
レストラン	7,757人	(2,356人減)
もりもりハウス	1,637人	(188人減)
スキーセンター	0人	(4,183人減)
入湯	60,538人	(2,434人増)
野外施設	37,469人	(3,104人増)
○主な事業の売上金額 ( )は前年比		
宿泊	6,999万円	(334万円減)
飲食	9,449万円	(2,274万円減)
入湯	1,459万円	(151万円増)
スポーツ施設	788万円	(43万円増)

※万円未満は端数調整しています。

## 職員数は5人増

有限会社ケイエスしらたか

代表取締役 藤島 丈

### ■主な業務受注状況

◇白鷹町立病院

医療事務・事務宿日直・調理業務・電算保守等

◇白鷹町訪問看護ステーション

医療事務

◇白鷹町総務課

公用車運転業務等

◇理事・職員数(令和2年3月31日現在)

◇理事・・・2人(非常勤・無給)

◇職員・・・32人

病院医療事務員・・・15人(3人増)

電算管理・・・2人

病院施設管理・・・4人

病院調理師・・・8人(2人増)

訪問看護医療事務員・・・1人

総務課運転手・・・2人

※( )内は、1年前との比較。

■令和元年度決算

◇事業収益 1億694万円

◇事業費用 1億686万円

◇当期純利益 2万円

※万円未満は端数調整しています。

総務厚生常任委員協議会

すくすく育て「白鷹っ子」

5月21日に協議会が開催され、すくすく白鷹っ子子育て応援事業について説明を受けた。

【事業の概要】

※故小形よねさんの遺贈寄付金を基に、町内の保育所や認定こども園に対し、ソフト面の充実のために支援を行い、各園が創意工夫し柔軟で効果的な事業展開を期待するもの。一園あたり50万円を上限とする。

の遊具整備。教育や保育技術向上のための研修会。園児の観劇時の補助。など

質疑

【委員】子育てと子育ての理念の違いは。

【当局】子育てとは、子どもがあるがままの姿保護者がそれを手伝うということ全般を指して子育てとし、それを

総称的に表現したものである。

【委員】それぞれの園で購入などしたものでいいの、もしくは事業計画などを提出した園に50万円を補助するの

か。【当局】あらかじめ事業計画をいただいで、概算払いや精算払いなど園の事情に合わせて、事業の実施に支障がないようにしたい。

産業建設常任委員協議会

イノシシによる農作物被害対策に補助

5月21日に開催され、有害鳥獣対策事業などについて説明を受けた。

有害鳥獣対策事業

【事業の概要】

町内で急増しているイノシシなどによる農作物被害に対し、広域電気柵を設置することにより有害鳥獣から農作物を防除し農作物の収量増加、所得の向上を図る。

【事業費・事業量】

114万5千円  
電気柵2800メートル  
(3段張)

【現状】

町内の農作物被害は平成30年度で757万円であり、被害の中心は果樹で約85%を占める。対象地域となる萩野地区内では昨年の醸造用ぶどうの収量が本来の10分の1程度まで

落ち込んでいる。

【事業日程】

6月 交付要綱制定  
7月 交付決定  
7月 事業実施

質疑

【委員】対象は萩野地区となっているが、ほかの地区から要望はなかったのか。

【当局】要件が厳しく他の地区からは上がっていない。

【委員】電気柵はイノシシに対しても効果があるのか。

【当局】3段張りイノシシに対応する張り方であれば十分に効果がある。ほかの地区からも効果があると報告を受けている。



- 棚田地域振興緊急対策事業
  - 農業委員及び農地利用最適化委員の募集結果
  - 白鷹町企業立地促進事業
- その他  
○ 萩野地区から要望はなかった。

# 新型コロナに負けない

昨年末、中国の武漢で発生した新型コロナウイルスは瞬く間に広がり世界中を震撼させました。日本でも1月16日に初めての感染者が確認され全国的に広がりを見せました。このような中、白鷹町では2月28日、感染症対策本部を設置。議会としても町当局とともに、町民の生活や経済支援に取り組んできました。

6月定例会までの間、6回にわたり説明を受け、情報を共有しながら疑問点をたどしました。現在も感染症対策本部からは随時、状況が議会に報告されます。



白鷹町の  
新型コロナウイルス対策

## 健康・医療・介護（4月2日・4月20日）

- Q 介護施設でクラスターが発生した場合の対策と町のバックアップ体制は。
- A もし非常事態宣言が出されたら県の指示に従い情報を共有し町民の安心安全のため取り組む。
- Q 福祉施設のマスクや防護服の確保状況は。
- A 県の対応によりひっ迫した状態ではない。
- Q 介護崩壊を防ぐため組織をまたいで人員の融通が必要となった時、町のサポートは。
- A まずは保健所の指示に従い町としてできる支援があればさせていただく。

## 学校教育（4月20日）

- Q 学校が休校になる中、オンライン授業などの対策はどのように考えているか。
- A 家庭のネット環境も様々なのもう少し状況を見て対応していかなければならない。
- Q P T A と連携を取り保護者の意見を聞いて対応しているのか。
- A P T A 役員と連携し、保護者からの心配事の相談にもメールで対応している。

## 経済（4月20日・5月1日）

- Q 事業所の中にはこれを機会に後継者もないし店を畳もうかと考えているという話も聞く。資金面だけでなく様々な支援を。
- A 休業要請している職業に限らず、そういう事をさけるためにもいろいろな支援を考えている。意志を持って継続いただきたい。
- Q テークアウトの補助は4月24日にスタートしたのにチラシが入ったのは28日。ズレが出たのはなぜか。
- A 参加店の追加で24日まで原稿を揃えられなかったため、先行してネットで告知した。町民から不公平との指摘があり反省している。
- Q 利子補給制度は、先行きが分からず借りられないとの声がある。
- A 今回の融資制度では借り換えも可能であるという事なので、その点もPRしながら対応したい。

白鷹町議会は、町民の皆様の命や生活を守るべく、鋭意努力してまいります。

# 感染症対策の更なる支援充実を

6月22日、今野議長と佐藤町長は置賜総合支庁を訪れ、

『令和3年度重要事業要望書』を総合支庁長に手渡した。

コロナ対策を含む重要事業13項目について県の支援を要望した。

詳細は広報しらたか7月号をご覧ください



1	白鷹高等専修学校への支援の充実について	高等課程を有する白鷹高等専修学校に対し、私立高等学校と同じ程度の支援を行うこと
2	人口減少対策に対する支援について	移住支援金について、支給対象の要件の緩和を働きかけること 他3項目
3	地方交付税総額の確保充実について	地方交付税(国から白鷹町に対して交付されるお金)の確保充実をはかること
4	地域公共交通に対する支援について	※1 デマンド交通に対する市町村総合交付金制度の拡充 他1項目 ※1 市町村総合交付金：町の施策に必要な経費の財源を補うことで地域の振興と住民福祉の増進をはかるため交付するもの
5	新たな過疎対策法の制定と支援について	※2 過疎対策事業債(ソフト・ハード)の必要額確保 他1項目 ※2 過疎対策事業債：過疎地域にあたる市町村限定で認められる借入れ
6	地域医療の確保について 	医師確保困難地域に対する財政措置を拡充すること 他2項目
7	新型コロナウイルス感染症対策への支援について <b>新規</b>	長期化が見込まれる新型コロナウイルス感染症対策として、感染症対応の医療機関への支援 他2項目
8	木材の安定供給体制を構築するための支援の強化について	都市部での県産木材の利用促進など、新たな木材需要の創出に向けた取り組みを推進すること 他1項目
9	森林境界明確化事業に対する支援について 	航空レーザー測量の実施や県補助事業の創設など、森林境界明確化のための支援を行うこと
10	主要地方道長井白鷹線道路改築事業(荒砥橋工区)の推進について	主要地方道長井白鷹線道路改築事業(荒砥橋工区)について、早期に完成させること
11	国道287号(菖蒲・下山地内)道路改築事業の整備促進について	菖蒲地内の道路改築事業の推進と、下山地内の道路改築事業を早期に着手すること
12	長井～白鷹間の西廻り幹線道路整備の早期着工について	産業振興や職住育近接等の生活環境を整えるうえで重要な役割を果たす、長井～白鷹間の西廻り幹線道路整備の早期着工
13	県立荒砥高等学校魅力化に係る地域連携協議会(仮称)の推進への支援について <b>拡充</b>	荒砥高校の魅力化を話し合う地域連絡協議会(仮称)の推進に必要な専門家やコーディネーターの支援、情報提供、助言

# 追跡

## —あの質問のゆくえ— 地域活動の情報提供

地元以外の地区におけるコミュニティセンター活動なども知ることができるように、町報などで紹介してはどうか。  
(H30.6議会)

答弁

町報などを活用して各地区の活動なども分かるように取り組んでいく。

どうなった

地区コミュニティセンターは、各地区経営主体が中心となり、住民自らが課題の解決に取り組む、住みよい地域にしていくため、地区計画を作成し事業を推進しております。

コミュニティセンターでは、各種講座・学級などの社会教育事業を中心とした「地域づくり交付金事業」や、地域課題の解決や地域資源を活かした特色ある取り組みなどを自由に展開することができる「地域づくり推進交付金事業」のほか、各種団体との共催事業など様々な活動に取り組んでおります。

コミュニティセンターの活動は、毎月コミュニティーセンター報を発行し地区内に配布するほか、町のホームページに掲載し、地区外の方にも情報を発信しております。また、地域の特色が色濃く反映される地域づくり推進交付金事業は、特徴的な取り組みを町報に掲載し周知を図っております。このほか、各コミュニティセンターのホームページでは、施設の概要のほか防災マップを掲載するなど様々な媒体を活用し、情報を発信しております。 【企画政策課】



地域コミュニティー  
センター報



地域づくり推進  
交付金事業

地域をこえた交流増進のため、情報発信の更なる充実を望む。

# 知れば得する “ぎかい” のキホン

## 第5回

## 白鷹町議会の委員会構成 (2)

町政は範囲が広く内容も複雑なため、本会議の予備的な審査をしたり、重要な事柄について調査したりするため、いくつかの委員会を設けています。

委員会には「常任委員会」「議会運営委員会」「特別委員会」があります。今回は議会運営委員会と特別委員会についてです。

**●議会運営委員会**  
議会の運営をスムーズに進めるために、議会運営全般にわたる事項について協議し、意見調整を図ります。  
具体的には、審議する議案や請願などの提出状況をあらかじめ把握したり、定例会や臨時会の会期の協議などをしたりします。

### ●特別委員会

常任委員会とは別に、町の重要な課題など特定の事柄について、専門的に審査や調査などを行う委員会です。白鷹町議会には現在「予算特別委員会」「議会活性化特別委員会」「議会広報特別委員会」があり、9月定例会では決算特別委員会も設置されます。

### ◇予算特別委員会

予算審査のために本会議で議決され、設置される委員会です。議長を除く全議員で構成され、議会に提出された予算案や補正予算案が委員会に付託され、審査を行います。

### ◇議会活性化特別委員会

平成27年より設置された委員会で、文字どおり議会を活性化するにはどうするかを検討する委員会です。

これまで検討されてきたこととして、議員のなり手を確保するために定数の削減、報酬の引き上げを検討提案し、前回の選挙より実施されました。  
ほかにも会議規則などの見直しや町民との意見交換会、政策提言のあり方などが検討されてきました。

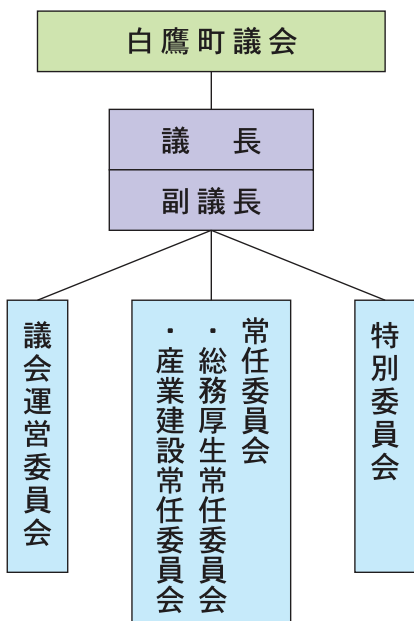
### ◇議会広報特別委員会

議会に関する情報を広く町民の皆さんにお伝えし、議会に対する関心を高めるために設置するものです。

まさにこの広報誌を作成している委員会であり、年4回発行しております。  
皆さんにわかりやすく情報を伝え、議会を身近に感じていただける誌面づくりに努めて

まいりますので、ご意見などお気軽にお寄せください。

※委員の構成は、令和元年7月発行の議会だよりをご参照ください。



一緒に活動しませんか。



平泉 英子 さん(鮎貝地区)

# ボランティア 白鷹の未来を彩る

えいこ  
なないろの会 平泉 英子さん

… 人とのつながりができました …

「なないろの会」で活動する平泉英子さんに、お話を伺いました。

## 活動内容は

なないろの会では、100歳体操や茶話会、子ども食堂などを定期的に開催しています。広い意味では介護保険外で福祉サービスを受けられる仕組みです。

## なないろの会とは

平成29年度から始まった「支え合う地域づくり」活動をしている団体です。現在は鮎貝新町「つどいの場にじ」を拠点に

スタッフ10人で活動しており、徐々に内容を充実させたいと努力しています。現在は「ほっとしらか」という、少し別枠の活動も始めています。

## ほっとしらかとは

有償ボランティア活動です。利用者さん宅へお邪魔して、ごみ出し、買い物補助、調理補助、通院移動支援など家事支援を主に行うほか、傾聴活動もあります。

## 良かったことは

4年ほど活動して地域の皆さん、スタッフの皆さんとの出会いができたことです。多種多様に教えてもらうことがあり、私の学びの場でもあります。私たちの活動は、自分も同じ立場になることを考えれば「お互いさま」だと思いますし、ご家族としても助かると思います。自分も含

めて「ほっとしらか」の存在は心強いです。

## 仲間募集

一緒に「ほっとしらか」の活動をしてくださる仲間が増えればうれしいです。ご自身と利用者さんの希望が合えば相談の上で活動いただきますので、そのような意味ではご負担が少ない形で活動できます。気軽にご連絡ください、お待ちしております。

## 読者にひとこと

白鷹町民どなたでも活用いただけます。町報しらかに活動日や活動内容が掲載されますので、気軽に足をお運びください。また「ほっとしらか」のスタッフ不足がちなので、一緒に活動いただけ方を募集しています。

## 町へひとこと

会場へ来ていただくにあたり、車の運転が難しい方もいます。移動支援への取り組みがあればと思っています。



## 取材を終えて

少子高齢時代を迎え、ちよつとしたお手伝いを頼める仕組みは、今後さらに大切になると感じるものができました。誰もが主役の「支え合う地域づくり」活動がこれからも広がることを期待したいと思います。(横山)

## 編集後記

議会広報のカメラ係として、昨年は多くのイベントにお邪魔させていただきました。今年はコロナ禍によりいくつかの活動が見合わせとなり、とても残念に感じています。

さまざまな影響を及ぼしているコロナ禍ですが、ウェブ会議など情報通信技術を用いたサービスが広がる契機にもなっているようです。町としても小中学校の生徒に急ぎパソコンなどを一人一台整備するような準備を進めています。道具を上手に使うためには経験が必要であり、そこには人の知恵が求められるようです。こういった点は、今も昔も変わらないのかもしれない。(横山)

## 広報委員

委員長 笹原 俊一  
副委員長・編集長 横山 和浩  
委員 丸川 雅春  
委員 竹田 雅彦  
委員 金田 悟  
印刷・(有)梅津印刷



お手持ちのパソコンやスマホ等で議会中継をご覧いただけます。録画でもご覧いただけます。

議会だよりのご意見・ご感想などを議会事務局までお寄せください。